



おおよその最小嵌合径 (Z) は、センサ素子が嵌合する最小の穴として定義され、センサ断面の対角線に相当します。

Z= おおよその最小嵌合径

$$Z^2 = W^2 + H^2$$

説明:

W = 素子の最大幅 (公差上限)

H = 素子の最大高さ (公差上限)

最大値以下の幅と高さの部品は、断面のサイズより大きな直径に嵌合する場合があります。